

スタジオトゥエイン
ナレッジクリップ
Knowledge Clip

設定・活用マニュアル



Copyright © Studio Twain All Rights Reserved.

【目次】

1 概要	3
2 アクセス権	5
3 基本機能	9
4 機能詳細	25
5 データベース設定	29
6 備考	41

1 概要

スタジオとうえいん ナレッジクリップ（以下ナレッジクリップ）は、テキストデータや画像ファイル、URL、その他様々なファイルを登録・整理し、個人または複数のユーザと知識（ナレッジ）を共有するための FileMaker Pro/Advanced 用データベースファイルです。ナレッジクリップには、以下のような特長があります。

- ・ 関連するキーワードを登録し、同一キーワードからなる登録データを抽出する機能（キーワード検索機能）
- ・ 登録データをプロジェクトと呼ばれる単位で分けし、必要に応じて抽出する機能（フィルタ機能）
- ・ 関連性のある登録データ間のリンク機能
- ・ 関連する URL、画像、各種ファイルを保存し、リスト表示する機能
- ・ 登録データを複数のユーザで共有する機能
- ・ 登録データごとに公開・非公開を設定する機能（アクセス権機能）
- ・ 登録データを整形フォーマットで印刷する機能

これらの機能を組み合わせることで、例えば、料理のレシピノートや Web 上の様々な情報を収集するためのスクラップブックとして利用したり、また複数のユーザ間で日々の業務や研究内容等を整理・参照するための電子マニュアル等にも活用することが可能です。ナレッジクリップには決まりきった使い方はありません。あなただけの利用法をみつけてください。

【動作環境】

ナレッジクリップの動作条件は以下の通りです。

[必要なソフト]

- ・ FileMaker Pro 8 以上または FileMaker Pro Advanced 8 以上
※FileMaker Pro 7・FileMaker Developer 7 上では動作しません。
- ・ データベースを共有する場合は、FileMaker Pro/Advanced 8 以上または FileMaker Server 8 以上が必要

[OS]

- ・ Mac OS X 10.3.9 以上を推奨
※Windows 版の FileMaker 上ではテストしていません。そのため、Windows 環境では、文字の表示位置がずれる等の予期せぬ動作をする可能性もあります。

[画面解像度]

- ・ 1,280×800 ピクセル（MacBook 13 インチ）以上
- ・ ※1,280x1,024 ピクセル（SXGA）以上を推奨

【用語説明】

・ エントリ

ナレッジクリップでは、登録内容と付随する情報の総称を“エントリ”(Entry) と表記し、テーブル単位の“レコード”とは区別して使用しています。すなわち、1 エントリとは、メインとなるテーブル上の 1 レコード+関連するポータルレコードの全体を指します。なお、姉妹ツールである“スタジオとうえいん まいっタスク”(なんちゃってイシュートラッキングツール) でも、登録内容と付随情報のことを同様に“エントリ”と呼んでいます。

・ プロジェクト

エントリを区分けするための分類名にあたります。各エントリにプロジェクトを割り当てることで、後述するフィルタによる抽出が容易になります。

・ フィルタ

プロジェクト別にエントリを表示する際に使用する“ふるい”にあたります。ナレッジクリップでは、ウインドウ右上に表示され、常時切り替え(=プロジェクト名による抽出)が可能です。

・ データベースアクセスアカウント

ナレッジクリップでは、ファイル>>定義>>アカウントとアクセス権...の『アカウント』タブに表示されるアカウントのことを“データベースアクセスアカウント”と呼んでいます。

【注意】

- ・ マニュアルの図版は、開発中のものです。実物とは細部が異なる場合がありますので、あらかじめご承知ください。なお、図版中の入力データはすべてサンプルです。
- ・ 本マニュアル、ナレッジクリップデータベースに関連するすべてのファイル及びナレッジクリップの派生物(ユーザによって作成されたデータやランタイムも含む)から発生したいかなる損害・不利益に関して、スタジオとうえいん及び開発者は一切責任を負わないものとします。ご利用は、使用者自身の責任の下で行ってください。
- ・ ナレッジクリップにはレコード単位でアクセス制御する機能がありますが、不具合等による情報漏洩を防ぐため、複数のユーザとデータベースを共有する場合は、機密性の高いデータを保存しないようにしてください。

2 アクセス権

初期状態のナレッジクリップは以下のアカウントから構成されています。

初期アカウント名	初期パスワード	アクセス権セット	説明
admin	admin	[完全アクセス]	管理者
config	config	Config	データベース設定
staff	staff	Staff	スタッフ
readonly	readonly	Readonly	閲覧のみ

重要 各アカウントの初期パスワードは、ファイル >> 定義 >> アカウントとアクセス権...の『アカウント』タブから必ず変更してください。

“admin”は、全エントリにアクセスできるアカウントです。エントリのアクセス権を“非公開”に設定している場合でも、“admin”は閲覧・編集・削除のいずれも可能です。

“config”は、ナレッジクリップで使用する値一覧の設定やアカウント管理で使用するアカウントです。このアカウントでログインすると、データベース設定画面へ自動的に切り替わります（“5 データベース設定”参照）。“config”では、エントリの編集や閲覧はできません。

“staff”は、エントリの編集権限があるアカウントです（ただし、レイアウトの編集はできません）。ナレッジクリップを複数のユーザで共有する場合に使用します。なお、複数のユーザで使用する場合は、標準のアカウント名（staff）はそのまま使用せず、Staff アクセス権セットに属するアカウントをグループまたはユーザごとに発行してください。

注意 他のアカウントで作成されたエントリの場合、セキュリティ上、エントリのアクセス権が“編集可”に設定されていても、一部項目（書きかけ／FAQ／アクセス権／リスト非表示）の変更及びポータルレコード（キーワード／関連エントリ／関連リンク／添付画像／添付書類）の削除は行えません。

“readonly”は、エントリの閲覧のみが可能なアカウントです。エントリのアクセス権が“編集可”または“閲覧のみ”に設定されているエントリだけが閲覧可能です。ただし、“編集可”の場合でも書き込みはできません。

デフォルトでは、“admin”アカウントで開くように設定されています。この状態は、個人で使用するには適していますが、ナレッジクリップを複数のユーザで共有する場合は、アクセス権設定を適切なものに変更する必要があります。

【設定例】※ 複数のユーザとデータベースを共有しない場合は、以下の設定は不要です。

・ 管理者 1 人、一般ユーザ 2 人でデータベースを共有する場合

- ① ファイル >> 定義 >> アカウントとアクセス権... から『アカウント』タブを開き，“staff”を選択後、『複製...』ボタンをクリックします。



- ② “staff”または“staff コピー”を選択し、『編集...』ボタンをクリックします。



- ③新しいアカウント名を入力し、『OK』ボタンをクリックします。その際、必ずパスワードも変更してください。

アカウントの編集

ユーザ（またはユーザのグループ）がこのデータベースにログインおよびアクセスできるよう、アカウント設定を指定します。

アカウントの認証方法: FileMaker

アカウント名: xyz

パスワード:

☐ ユーザは次回ログイン時にパスワードの変更が必要

アカウントのステータス: ☒ アクティブ ☐ 非アクティブ

アクセス権セット: Staff 編集...

説明: スタッフB

キャンセル OK

- ④同様の手順で、“admin”“config”“readonly”アカウントのパスワードも変更し、『アカウント』タブの『OK』ボタンをクリックします。
- ⑤ファイル >> ファイルオプション... を開き、“次のアカウントを使用してログイン”のチェックを外します。

ファイルオプション 「ST_knowledgeClip_DEMO」

開く/閉じる 英文スペルチェック テキスト グラフィック

このファイルを開く時

☒ 次のアカウントを使用してログイン:

☐ ゲストアカウント

☒ アカウント名とパスワード

アカウント: admin

パスワード:

☒ 表示するレイアウト: タイトル

☒ 実行するスクリプト: 起動時に実行

このファイルを閉じる時

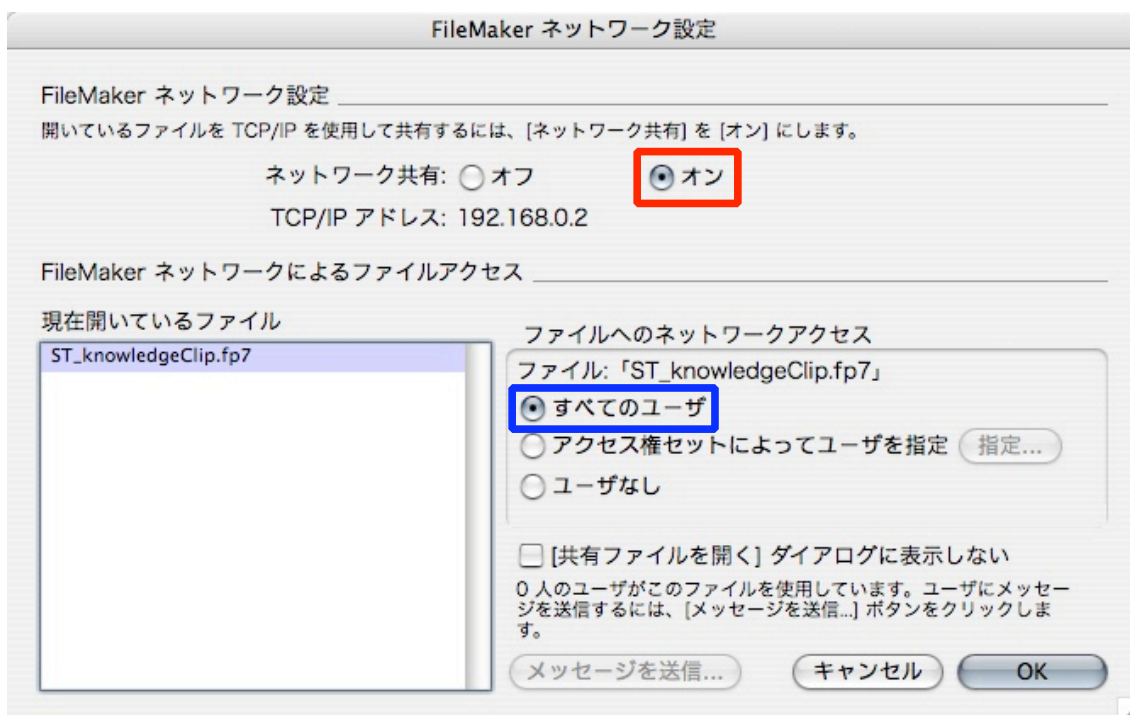
☐ 実行するスクリプト: <不明>

キャンセル OK

これでログインするたびにアカウントとパスワードが要求されるため、複数ユーザ間でのデータベース共有が可能になります。

参考 ナレッジクリップを単独のユーザで使用している場合でも、“次のアカウントを使用してログイン”のチェックを外すことで、起動時にパスワード認証を行うことが可能です。

- ⑥ ネットワーク上でナレッジクリップを使用する場合は、共有設定 >> FileMaker ネットワーク設定 上で、“ST_knowledgeClip.fp7”のネットワーク共有をオン（赤枠）にし、かつ「すべてのユーザ」（青枠）に対してファイルへのネットワークアクセスを許可する必要があります。詳しくは、FileMaker のマニュアルをご覧ください。



重要 ナレッジクリップは、スタンドアロン（含むランタイム）及び FileMaker ネットワークでのみ使用可能です。インスタント Web 公開等では正常に動作しませんのでご注意ください。

参考 専用のレイアウトを使ったアカウント管理方法については、“5 データベース設定”をご覧ください。

3 基本機能

この章では、ナレッジクリップの基本的な使い方について説明します。

はじめに、“ST_knowledgeClip.fp7”をダブルクリックします。すると、FileMaker Pro/Advanced が立ち上がり、ナレッジクリップのタイトルスプラッシュが表示されます。



数秒すると、一覧表示レイアウトに切り替わります。

注意 FileMaker Pro 7/ FileMaker Developer 7 上では動作しません。バージョン 8 以降の FileMaker を使用してください。



初回起動時はエントリが登録されていないので、まずウインドウ左上の『エントリ作成』をクリックしてください。

エントリ作成 | エントリ検索 | エントリ複製 | エントリ削除 | キーワード検索 | 抽出解除 | エントリ印刷 | アンドゥ | 再ログイン

すると、詳細内容の入力画面に切り替わります。

この画面上で、エントリの詳細を入力します（入力項目については下表参照）。

項目名	説明	入力の可否
エントリ ID	エントリごとに割り振られるユニークな数字。関連エントリの登録の際にも使用します	不可（自動入力）
アカウント	ログイン時に使用したアカウント名。デフォルトでは“admin”になります	不可（自動入力）
作成日時	エントリを作成した日時	不可（自動入力）
更新日時	エントリを更新した日時	不可（自動入力）
関連エントリ数	エントリに關係する関連エントリの登録数	不可（自動入力）
関連リンク数	エントリに關係する関連 URL の登録数	不可（自動入力）
添付画像数	画像ファイルの登録数	不可（自動入力）
添付資料数	資料ファイルの登録数	不可（自動入力）
作成者	エントリの作成者名。システムのユーザ名または FileMaker の環境設定で指定したユーザ名が初期値として入力されます	可

項目名	説明	入力の可否
プロジェクト†	エントリの大分類項目。ウインドウ右上のフィルタの検索キーに使用されます。値一覧は別途設定可能です（“5 データベース設定”を参照）	可（必須）
リビジョン	エントリのバージョン。半角数字で入力	可
タイトル†	エントリの題名	可（必須）
カテゴリ†	エントリの中分類項目。値一覧は別途設定可能です（“5 データベース設定”を参照）	可（必須）
サブカテゴリ	エントリの小分類項目。サブカテゴリの値一覧は、カテゴリの選択内容によって変わります。また、選択肢の値は別途設定可能です（“5 データベース設定”を参照）	可
対象属性	エントリに割り振る属性値。値一覧は別途設定可能です（“5 データベース設定”を参照）	可（複数選択可）
キーワード	エントリに関係するキーワードフレーズとよみがなを入力。ウインドウ上部の『キーワード検索』でも使用。『選択』ボタンをクリックすると、別のエントリですでに使用しているキーワードを一覧から選択できます	可（複数入力可）
内容†	エントリで示したい具体的な内容	可（必須）
備考	エントリに関連するメモ等	可
書きかけ	マークしたエントリは、ウインドウ右上のフィルタオプションで『書きかけ除外』がONの場合にリストから除外されます。初期値はONです	可
FAQ	よく参照するエントリにマークしておくと、ウインドウ右上のフィルタオプションの『FAQ』がONの場合に抽出することができます。初期値はOFFです	可
アクセス権†	他のアカウントによる編集／閲覧アクセス権の設定。初期値は2です 0：非公開 作成者のアカウント及び管理者のみアクセス可能 1：閲覧のみ 作成者のアカウント及び管理者以外は閲覧のみ許可 2：編集可 “閲覧のみ”アカウント以外は編集を許可	可（必須）
リスト非表示	マークしたエントリは、ウインドウ右上のフィルタを使用してもヒットしません。初期値はOFFです	可

†は入力必須項目

・作成者名

エントリの作成者名を変更したい場合は、フィールド内容を選択し上書きするか、▼をクリックして入力候補から選択します。初期値は、システムのユーザ名または FileMaker の環境設定で指定したユーザ名になります。

作成者	Studio Twain	▼
プロジェクト	Kay	
リビジョン	Studio Twain	
タイトル		

・プロジェクト

エントリの大分類に相当します。フィルタ（後述）の抽出条件に使用するため、いずれかの値を必ず選択してください。なお、右側のボタンをクリックすると、選択内容がクリアされます。

プロジェクト	01.プロジェクト1	✖
リビジョン	02.プロジェクト2	
タイトル	03.プロジェクト3	

注意 実際に使用を開始する前に、値一覧を設定してください（“5 データベース設定”を参照）。

・リビジョン

・タイトル

フリーフォームです。エントリの内容を度々改訂する場合は、リビジョン欄にバージョンナンバー（半角数字）を入力しておくとう管理しやすくなります。タイトル欄には、エントリの概要を簡潔に記入してください。

リビジョン	1
タイトル	ナレッジクリップマニュアル

- ・ カテゴリ
- ・ サブカテゴリ

エントリの中分類と小分類に相当します。サブカテゴリの値一覧は、カテゴリの選択内容によって変化するため、サブカテゴリを先に選択することはできません。右側のボタンをクリックすると、選択内容がクリアされます。

注意 実際に使用を開始する前に、値一覧を設定してください（“5 データベース設定”を参照）。

- ・ 対象属性

エントリに割り当てる属性値です（複数選択可能）。例えば、少数のメンバー内でエントリを共有する場合には、あらかじめメンバー名を割り当てておき、“該当者にチェック”といったような使い方が考えられます。『全選択』ボタン（赤枠）をクリックすることですべての対象属性を選択したり、逆に『全解除』ボタン（青枠）で全対象属性のマークを外すことも可能です。なお、『エントリ印刷』（“4 機能詳細”を参照）を実行すると、対象属性はマークした順に印刷されます。

注意 実際に使用を開始する前に、値一覧を設定してください（“5 データベース設定”を参照）。

- ・ キーワード

検索用のキーワードとして利用する“フレーズ”と“フレーズのよみがな”を入力します（※ナレッジクリップでは、このふたつを合わせて“キーワード”と呼んでいます）。“フレーズのよみがな”は、通常“フレーズ”を入力することで自動的に補完されますが、不正確な場合は訂正することも可能です。キーワードを削除したい場合は、右側のゴミ箱アイコン（赤枠）をクリックしてください。また、『選択』ボタン（青枠）をクリックすると、他のエントリで使用されているフレーズから選択することも可能です。ある程度エントリが増えてきたら、入力する前に、適切なフレーズがすでに登録されていないか調べてみることをお勧めします。

キーワード	フレーズ	フレーズのよみがな
選択	サンプル	さんぶる
選択	説明書	せつめいしょ
選択	ナレッジクリップ	なれっじくりっぷ
選択	マニュアル	まにゅある
選択		

適切なフレーズが見つかった場合、フレーズを含む行をクリックすることで、キーワード欄に転記されます。

ナレッジクリップ

キーワード

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

英字

数字

全件

抽出

クリア

☐ FAQ
 ☐ 書きかけ除外
 ☐ リスト非表示除外

ソート解除

フレーズ

フレーズのよみがな ▼

使用数 ▼

CG	CG	3
Apple	あっぷる	1
インプレッション	いんぷれっしょん	1
壁紙	かべがみ	2
サンプル	さんぶる	1
説明書	せつめいしょ	1
デスクトップピクチャ	ですくとおふびくちゃ	2
ナレッジクリップ	なれっじくりっぷ	1
ノートパソコン	のーとばそこん	1
Mac	まっく	1

×

RECORD: 1/ 11 [15]

注意 [完全アクセス]のアカウントでログイン時に、キーワードリスト上でレコードの新規作成を行わないでください。

- ・ 内容
- ・ 備考

フリーフォームです。エントリの具体的な内容やメモ等を入力してください。

内容	スタジオとえいん ナレッジクリップ（以下ナレッジクリップ）は、テキストデータや画像ファイル、URL、その他様々なファイルを登録・整理し、個人または複数のユーザーと知識（ナレッジ）を共有するためのFileMaker Pro/Advanced用データベースファイルです。ナレッジクリップには、以下のような機能があります。
備考	マニュアルのまにある

『拡大』ボタンをクリックすると、入力枠の広いウインドウが表示されます。

- ・ 書きかけ
- ・ FAQ
- ・ アクセス権
- ・ リスト非表示

エントリの各種設定用フラグです。ここでの設定は、主にフィルタの動作に影響します。

書きかけ	<input checked="" type="checkbox"/>	アクセス権	<input type="radio"/> 0 <input type="radio"/> 1 <input checked="" type="radio"/> 2	0: 非公開
FAQ	<input type="checkbox"/>	リスト非表示	<input type="checkbox"/>	1: 閲覧のみ
				2: 編集可

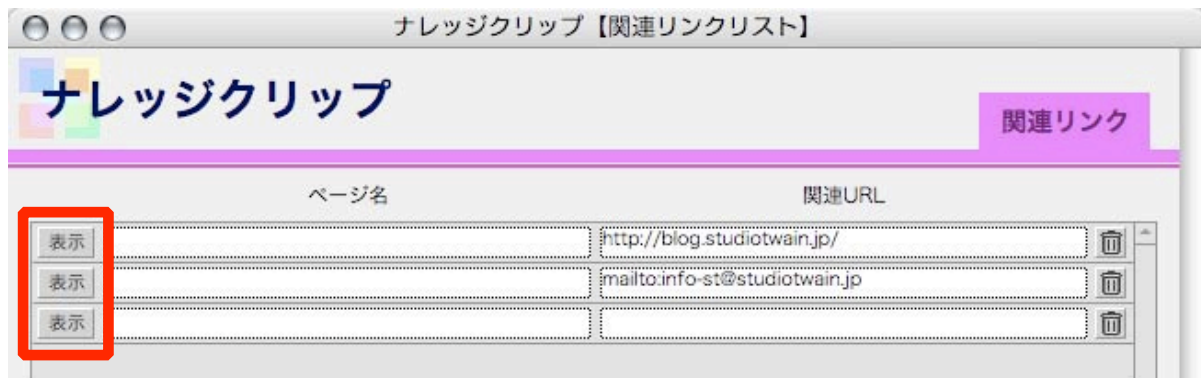
参考 “リスト非表示”は主に、メインとなるエントリから関連エントリとしてのみ呼び出したいエントリで使用します。

【関連リンクの設定】

エントリの内容に関連する URL を登録する場合は、“関連リンク数”の右側の『表示』ボタンをクリックするか、ウインドウ右上の『ポータル』タブをクリックしてください（ここでは、『表示』ボタンクリック時の動作について説明します）。

関連リンク数	0.....	表示
--------	--------	-----------

すると、次のような新規ウインドウが表示されるので、“関連 URL”欄に URL またはメールアドレスを入力します。登録後は、『表示』ボタンをクリックすることで、当該 Web ページまたはメールアドレスにアクセスできます。



注意 『表示』ボタンは、関連URL欄に“http://”“https://”“mailto:”のいずれかから始まるアドレスが入力されたときのみ動作します。

また、バージョン 8.5 以降の FileMaker Pro/Advanced を利用している場合は、キーボードの option (Alt) キーと『表示』ボタンを同時にクリックすることで、FileMaker ウィンドウ内で Web ページを閲覧することができます(“mailto:”から始まるアドレスは除く)。Web ビューア表示時にウィンドウ左下の『ページ名取得』ボタンをクリックすると、表示中の Web ページのタイトルが関連リンクリストの“ページ名”欄に反映されます。



注意 一部のページでは、正常にページタイトルを取得できないことがあります。そのような場合は手動で“ページ名”を入力してください。

【添付画像の設定】

エントリの内容に関連する画像を貼りつける場合は、“添付画像数”の右側の『表示』ボタンをクリックするか、ウインドウ右上の『ポータル』タブをクリックしてください（ここでは、『表示』ボタンクリック時の動作について説明します）。



すると、次のような新規ウインドウが表示されるので、空白の“添付画像”欄または『取り込み』ボタンをクリックします。

TIPS 画像ファイルが登録されている状態で、キーボードの option (Alt) キーと『表示』ボタンを同時にクリックすると、画像の拡大ウインドウが表示されます。



任意の画像ファイルを指定すると、データベースに取り込まれます。“キャプション”の初期値は取り込んだ画像ファイルのファイル名になりますが、わかりにくい場合は適宜変更してください。

注意 ネットワーク上でデータベースを共有する場合は、あまり大きな画像ファイルをアップロードしないでください。

TIPS キャプションに“Fig.1”等の見出し番号を付加し、エントリの内容との対応関係をつけておくと便利です。

サムネイルまたは『拡大』ボタンをクリックすると、画像ファイルが拡大表示されます。



画像ファイルが複数ある場合は、矢印ボタン（赤枠）で移動が可能です。また、ウインドウ左下の『印刷』ボタン（青枠）をクリックすると、表示中の画像または現在のエントリに関連する画像ファイルを印刷できます。

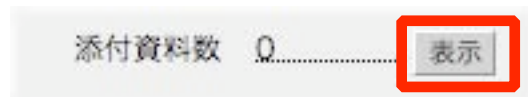


取り込み済の画像ファイルを書き出す場合は、『書き出し』ボタンをクリックし、保存場所を指定してください。



【添付資料の設定】

エントリの内容に関連するファイルを貼りつける場合は、“添付資料数”の右側の『表示』ボタンをクリックするか、ウインドウ右上の『ポータル』タブをクリックしてください（ここでは、『表示』ボタンクリック時の動作について説明します）。



すると、次のような新規ウインドウが表示されるので、空白の“添付資料”欄または『取り込み』ボタンをクリックします。



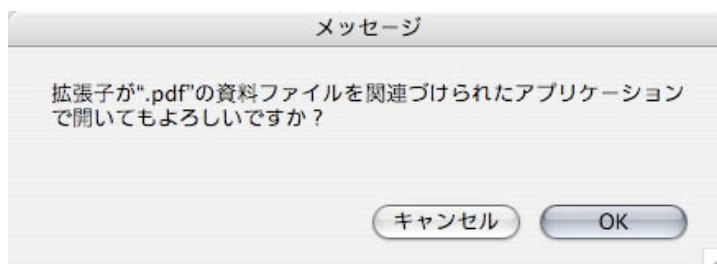
任意のファイルを指定すると、データベースに取り込まれます。“キャプション”の初期値は取り込んだファイル名になりますが、わかりにくい場合は適宜変更してください。

注意 ネットワーク上でデータベースを共有する場合は、あまり大きなファイルをアップロードしないでください。

資料ファイルの内容を確認したい場合は、取り込み済の“添付資料”枠または『実行』ボタンをクリックします。



すると、次のようなダイアログが表示されます。



『OK』ボタンをクリックすると、拡張子に基づいた対応アプリケーションで資料ファイルを直接開くことができます（従って、拡張子のないファイルは開けません）。ただし、内容が分からない実行ファイル等を開くとセキュリティ上問題が生ずることも考えられるため、充分注意の上ご使用ください。

参考 キーボードの option (Alt) キーと“添付資料”枠または『実行』ボタンを同時にクリックすると、一時ファイルの保存フォルダが開きます。一時ファイルは、Macintosh の場合 /private/tmp へ、Windows だと <システムドライブ>: ¥Documents and Settings¥<アカウント>¥Local Settings¥Temp に “ST_knowledgeClip_<11桁のユニークな数字>.<拡張子>” という名前で保存されます。なお、Windows の場合、Temp フォルダに保存されたファイルは再起動後も消えないため、手動で適宜削除してください。

取り込み済の資料ファイルを書き出す場合は、『書き出し』ボタンをクリックし、保存場所を指定してください。

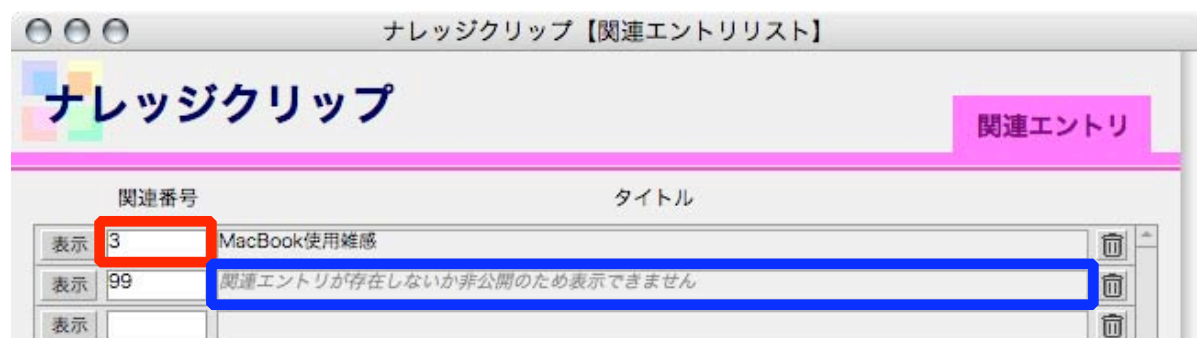


【関連エントリの設定】

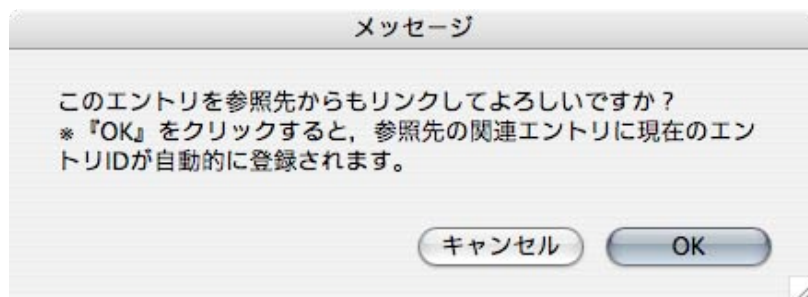
他のエントリと関連づけを行う場合は、“関連エントリ”の右側の『表示』ボタンをクリックするか、ウインドウ右上の『ポータル』タブをクリックしてください（ここでは、『表示』ボタンクリック時の動作について説明します）。



すると、次のような新規ウインドウが表示されるので、“関連番号”欄（赤枠）に参照先のエントリ ID を入力します。登録後は、『表示』ボタンをクリックすることで、関連エントリが新規ウインドウに表示されます。存在しない関連番号またはアクセス権のないエントリの関連番号が入力された場合はその旨が表示（青枠）され、『表示』ボタンは動作しません。



なお、キーボードの option (Alt) キーと『表示』ボタンを同時にクリックすると、参照元の関連番号（エントリ ID）を参照先の関連エントリとして追加登録します。双方のエントリを関連づけたい場合に使用してください。

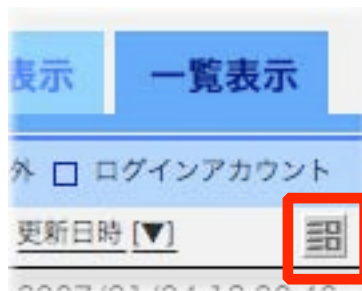


【レイアウト切り替え】

ウインドウ右上のタブは、レイアウトの切り替えに使用します。



『一覧表示』タブ（ショートカットは Mac: command + 1 / Windows: Ctrl + 1）は、エントリのリスト画面に該当します。フィルタ（後述）使用後も、この画面に切り替わります。なお、一覧表示中に下図のアイコン（赤枠）をクリックすると、画像ファイルのサムネイル付き一覧表示レイアウトに切り替わります。

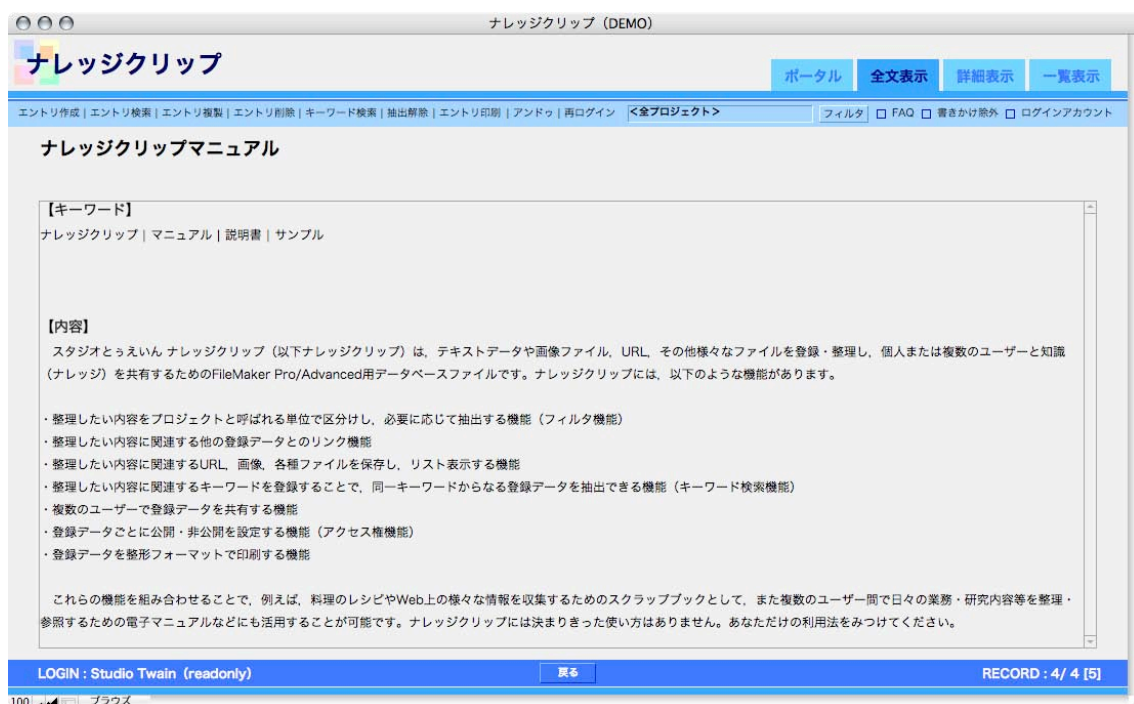


TIPS 一覧表示以外のレイアウト表示中に、キーボードの option (Alt) キーと『一覧表示』タブを同時にクリックすると、サムネイル付き一覧表示レイアウトに切り替わります。

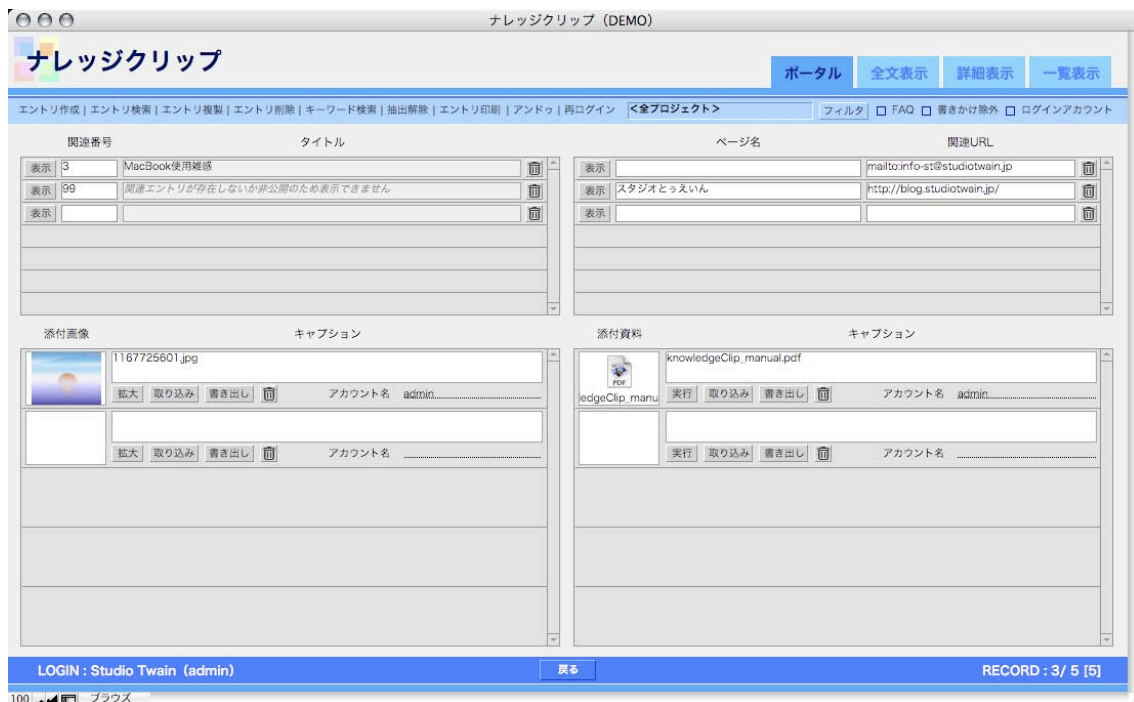
『詳細表示』タブ (ショートカットは Mac:command + 2 / Windows:Ctrl + 2) は、エントリの詳細内容の入力・閲覧画面にあたります。編集権限のないエントリを表示すると、書き込み禁止のアイコンが画面中央に表示されます。



『全文表示』タブ (ショートカットは Mac:command + 3 / Windows:Ctrl + 3) は、キーワード／内容／備考を連続して表示するものです。長い内容のエントリを確認する場合に使用します。なお、このレイアウト上では、データの編集はできません。



『ポータル』タブ (ショートカットは Mac:command + 4 / Windows:Ctrl + 4) は、関連エントリ／関連リンク／関連画像／関連資料を一括して表示するレイアウトです。エントリに付随するデータをまとめて確認する場合や、各種情報を一括して登録する際に使用してください。



【フィルタ】

ウインドウ右上のフィルタを使うと、検索モードに切り替えることなく特定のプロジェクトに含まれるエントリの抽出等が簡単に行えます。

特定のプロジェクトに含まれるエントリのみを抽出する場合は、プルダウンメニューから該当のプロジェクトを選択し、『フィルタ』ボタンをクリックします。



また、よく閲覧されるエントリ（＝“FAQ”フィールドが ON）のみを抽出対象にする場合は、『FAQ』のチェックボックスをマークします。『書きかけ除外』をマークすると、未完成のエントリを除外することができます。さらに、『ログインアカウント』をマークしておくと、現在ログイン中のアカウント名（admin 等）で作成したエントリのみを抽出対象にすることが可能です。なお、これらのフィルタオプションは、AND 条件で動作します。

参考 プロジェクト選択時にフィールド内に表示される数字（上図では“1”）は、ナレジクリップの内部で使用する ID 番号です。ユーザは通常、ID 番号を意識する必要はありませんが、時折表示される数字はナレジクリップの仕様になります。

4 機能詳細

この章では、ナレッジクリップの詳細について説明します。

【メニュー】

エントリ作成 | エントリ検索 | エントリ複製 | エントリ削除 | キーワード検索 | 抽出解除 | エントリ印刷 | アンドゥ | 再ログイン

・エントリ作成

エントリを新規作成します。ただし、関連するエントリとして参照中のウインドウ上やアクセス権セットが“Readonly”のアカウントでログイン中は実行できません。

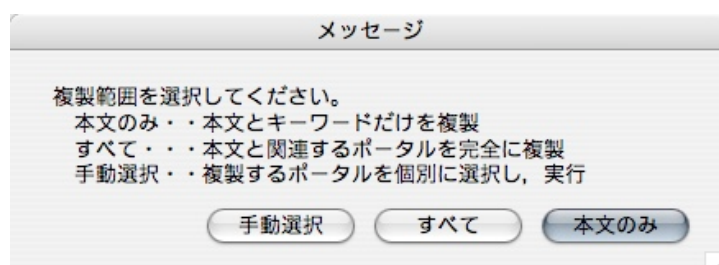
・エントリ検索

エントリを検索します。フィルタで対象プロジェクトを絞り込んでいる場合は、選択中のプロジェクトのみを検索対象にします。ただし、エントリのアクセス権が“非公開”に設定されている他のアカウントで作成されたエントリは検索結果に含まれません（管理者アカウントは除く）。また、関連するエントリとして参照中のウインドウ上では実行できません。

・エントリ複製

エントリを関連テーブルを含めて複製します。ただし、関連するエントリとして参照中のウインドウ上や編集権限のないエントリでは実行できません。

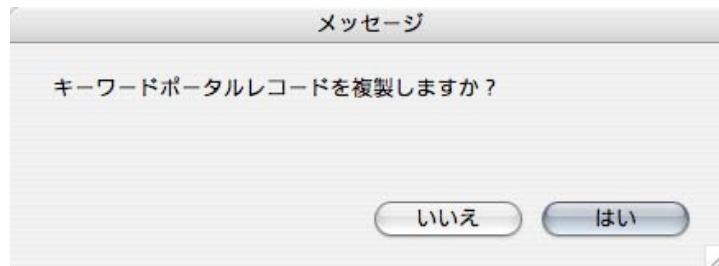
『エントリ複製』をクリックすると、次のようなダイアログが表示されます。



『本文のみ』ボタンをクリックすると、詳細表示レイアウトに含まれる情報だけが複製されます。

『すべて』ボタンは、関連テーブルも含めたエントリの完全な複製を行いたい場合に使用します。実行すると、本文に加え、ポータルレコード（関連エントリ／関連リンク／添付画像／添付書類）も自動で複製されます。

『手動選択』ボタンをクリックすると、本文と任意のポータルレコードを複製できます。ポータルレコードの存在する関連テーブルがあるとダイアログが表示されるので、複製するかどうかを選択してください。



なお、複製されたエントリのタイトルには、「のコピー」の文字列が付加されます。

・ エントリ削除

エントリを関連テーブルを含めて削除します。ただし、関連するエントリとして参照中のウィンドウ上や管理者／エントリ登録者以外のアカウントでログイン中は実行できません。

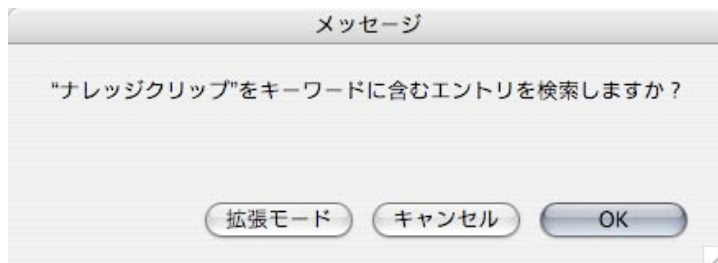
・ キーワード検索

キーワードフレーズによるエントリ検索を行います。ただし、関連するエントリとして参照中のウィンドウ上では実行できません。

『キーワード検索』をクリックすると、次のようなウィンドウが表示されます。

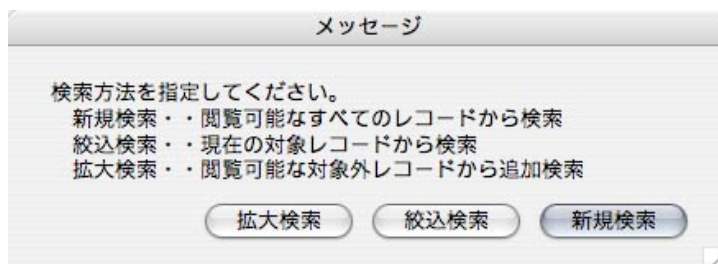


“フレーズ”と書かれた列が、エントリと関連づけて登録されているキーワードになります。また、“使用数”は、ナレッジクリップに記録されている各フレーズの使用回数にあたります（※ アクセス権のないエントリのフレーズもカウントされます）。適切なフレーズが見つかったら、任意の行をクリックしてください。すると、次のようなダイアログが表示されます。



『OK』ボタンをクリックすると、フレーズを含んだアクセス権のあるエントリを検索します。

一方、『拡張モード』ボタンは、絞り込み検索等のより細かいエントリの抽出を行う場合に使用します。クリックすると、さらに以下のようなダイアログが表示されます。



『新規検索』ボタンは、通常のキーワード検索と同じ動作になります。

『絞込検索』ボタンは、現在の対象エントリに対して、選択したキーワードフレーズを含むエントリのみを抽出します。複数のフレーズで AND 検索を行いたい場合に使用してください。

『拡大検索』ボタンは、対象外のエントリに対してキーワードフレーズを含むエントリ検索を行い、検索結果を現在の対象エントリに追加します。複数のフレーズで OR 検索を行いたい場合に使用してください。

なお、キーワード検索は、全プロジェクトを対象に実行します。そのため、フィルタで対象プロジェクトを絞り込んでいる場合は、自動的に“<全プロジェクト>”に切り替わります。

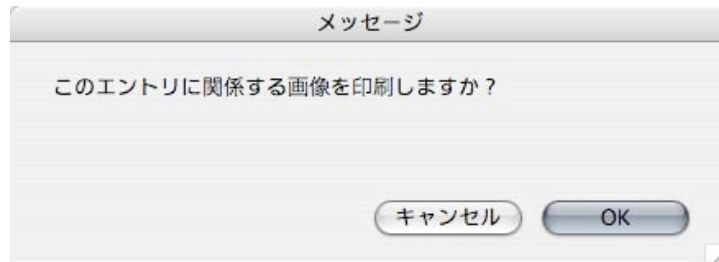
・抽出解除

アクセス権のある全エントリを表示し、デフォルトのソート順で並び替えを行います。ただし、関連するエントリとして参照中のウィンドウ上では実行できません。基本的な動作はフィルタの“<全プロジェクト>”と同一ですが、実行後に一覧表示レイアウトへ切り替わらない点が異なります。

TIPS デフォルトのソート順は、最終更新日（降順）→ エントリを作成したアカウント名（昇順）→ エントリの作成者名（昇順）に設定されていますが、変更可能です。詳しくは、“6 備考”をご覧ください。

・ エントリ印刷

表示中のエントリを A4 サイズで印刷します。また、添付画像がある場合は、印刷の有無を確認するダイアログが途中で表示されます。



なお、キーボードの option (Alt) キーと『エントリ印刷』を同時にクリックすることで、PDF ファイルとして保存することも可能です。

TIPS PDF ファイル保存ダイアログが表示された際に、キーボードの command + V (Windows : Ctrl + 1) を押すと、エントリのタイトルをペーストできます。

・ アンドゥ

詳細表示レイアウトに含まれる情報を前回保存時の状態へ戻します。ただし、関連するエントリとして参照中のウインドウ上や編集権限のないエントリでは実行できません。また、仕様上、ポータルレコードやウインドウ左側のブックアイコン（ステータスエリア）を使用して移動したエントリは復元対象になりません。



従って、補助的な機能（＝復元できないケースもある／ポータルレコードはアンドゥの対象外）として使用されることをお勧めします。

参考 ステータスエリアは通常非表示ですが、[完全アクセス]のアカウントでログインした場合のみ、ウインドウ左下のアイコンをクリックすることで表示されます。

・ 再ログイン

別のアカウントでログインし直す場合に使用します。ただし、関連するエントリとして参照中のウインドウ上では実行できません。

5 データベース設定

この章では、ナレッジクリップで使用する値一覧の設定やアカウント管理について説明します。

ナレッジクリップを閉じている場合は“ST_knowledgeClip.fp7”をダブルクリックします。その際、“admin”で自動ログインする設定（“2 アクセス権”参照）を解除していない場合は、キーボードの option (Alt) キーを押したまま、データベースを開きます。すでにナレッジクリップを開いている場合は、『再ログイン』（“4 機能詳細”参照）をクリックしてください。

すると、ログインパネルが表示されるので、“config”アカウントでログインします。



ログインに成功すると、次のようなウィンドウが表示されます。



各項目の『編集』ボタンをクリックすると、設定画面に切り替わります。作業終了後は、ウィンドウ下部の『×』ボタンをクリックして終了するか、ウィンドウ左上の『再ログイン』をクリックして、他のアカウントに切り替えてください。

①プロジェクトセット

フィルタとして使用するエントリの大分類項目を設定します。

初期値として4レコードが登録されています。このうち、“<全プロジェクト>”と表示されているものは、ナレッジクリップに登録されている全エントリを表示するための特別なレコードです。この「特別なレコード」のことを、ナレッジクリップでは“プロジェクトバイнда”と呼びます。また、残りの3レコードは、通常の大分類項目名として使用します。これらを適切な名前に変更の上、使用してください。また、プロジェクト名が不足していたり多すぎる場合は、レコード(=値一覧)を追加・削除することもできます。

ソート解除	プロジェクト名 [▼]	PB	無効	メモ [▼]	ソート順 [▼]
1	<全プロジェクト>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		0
2	プロジェクト1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		1
3	プロジェクト2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		2
4	プロジェクト3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		3

任意の行をクリックすると、詳細表示に切り替わります。

プロジェクトセットID 1.....

プロジェクト名 <全プロジェクト>

プロジェクトバイндаフラグ ☒ ※チェックすると、全プロジェクト表示用の特殊なプロジェクト名として動作します

ソート順 0

メモ

無効フラグ ☐ ※チェックすると、値一覧に表示されなくなります
プロジェクトバイндаフラグをチェックしている場合は使用できません

- ・ **プロジェクトセット ID**

プロジェクトごとに割り振られるユニークな数字です。内部処理で使用するため、ユーザーが通常意識する必要はありません。

参考 ナレッジクリップでは、一部を除き、選択項目（ポップアップメニュー）の値に ID を用いています。ID を使用すると、選択肢の文字列と実際の記録内容 (= ID) とを分離できるため、運用後も必要に応じて文字列を変更できるといったメリットがあります。

- ・ **プロジェクト名<入力必須>**

エントリの大分類として使用する名称を入力します。

- ・ **プロジェクトバイндаフラグ**

マークすると、ナレッジクリップに登録されている全エントリを表示するための特殊なプロジェクト名として動作します。プロジェクトバイндаは 1 レコードしか設定できません。また、必ずいずれかのレコードを“プロジェクトバイнда”に指定してください。

- ・ **ソート順<入力必須>**

値一覧に表示する順番を指定します。0~99 の最大 100 件指定できます（※ 従って、有効なプロジェクト名の上限は 100 件になります）。またソート順が一桁の場合、十の桁に 0 が自動的に付加されます。

- ・ **メモ**

フリーフォームです。入力内容は、【プロジェクトセット】以外では表示されません。備考等を適宜入力してください。

- ・ **無効フラグ**

マークすると、プロジェクトの値一覧に表示されなくなります。一時的に使用しないプロジェクトがある場合に使用します。ただし、すでにエントリで使用されているプロジェクトを“無効”にすると、画面表示がおかしくなりますのでご注意ください。

②カテゴリセット

エントリの中分類項目を設定します。

初期値として3レコードが登録されています。適切な名前に変更の上、使用してください。また、カテゴリ名が不足していたり多すぎる場合は、レコード（＝値一覧）を追加・削除することもできます。

ソート解除	カテゴリ名 [▼]	サブカテゴリ数 [▼]	無効	メモ [▼]	ソート順 [▼]
	1 カテゴリA	3	<input type="checkbox"/>		1
	2 カテゴリB	3	<input type="checkbox"/>		2
	3 カテゴリC	3	<input type="checkbox"/>		3

戻る RECORD : 1 / 3 [3]

任意の行をクリックすると、詳細表示に切り替わります。

カテゴリセットID 1.....

カテゴリ名 カテゴリA

ソート順 1

メモ

無効フラグ ☐ ※チェックすると、値一覧に表示されなくなります

サブカテゴリ数 3..... 切替

RECORD : 1 / 3 [3]

- ・ **カテゴリセット ID**

カテゴリごとに割り振られるユニークな数字です。内部処理で使用するため、ユーザが通常意識する必要はありません。

- ・ **カテゴリ名<入力必須>**

エントリの中分類として使用する名称を入力します。

- ・ **ソート順<入力必須>**

値一覧に表示する順番を指定します。0～99 の最大 100 件指定できます (※ 従って、有効なカテゴリ名の上限は 100 件になります)。またソート順が一桁の場合、十の桁に 0 が自動的に付加されます。

- ・ **メモ**

フリーフォームです。入力内容は,【カテゴリセット】以外では表示されません。備考等を適宜入力してください。

- ・ **無効フラグ**

マークすると、カテゴリの値一覧に表示されなくなります。一時的に使用しないカテゴリがある場合に使用します。ただし、すでにエントリで使用されているカテゴリを“無効”にすると、画面表示がおかしくなりますのでご注意ください。

- ・ **サブカテゴリ数**

表示中のカテゴリに属するサブカテゴリの数を表示します。『切替』ボタンをクリックすると、サブカテゴリセットに切り替わります。

③サブカテゴリセット

エントリの小分類項目を設定します。

初期値として9レコード(3カテゴリ×3サブカテゴリ)が登録されています。適切な名前に変更の上、使用してください。また、サブカテゴリ名が不足していたり多すぎる場合は、レコード(=値一覧)を追加・削除することもできます。

注意 サブカテゴリの設定の前に、カテゴリセットを作成しておく必要があります。

	サブカテゴリ名 ▼	カテゴリ名 ▼	ソート順 ▼
1	サブカテゴリA1	01.カテゴリA	1
2	サブカテゴリA2	01.カテゴリA	2
3	サブカテゴリA3	01.カテゴリA	3
4	サブカテゴリB1	02.カテゴリB	1
5	サブカテゴリB2	02.カテゴリB	2
6	サブカテゴリB3	02.カテゴリB	3
7	サブカテゴリC1	03.カテゴリC	1
8	サブカテゴリC2	03.カテゴリC	2
9	サブカテゴリC3	03.カテゴリC	3

任意の行をクリックすると、詳細表示に切り替わります。

サブカテゴリセットID 1.....

サブカテゴリ名 サブカテゴリA1

カテゴリ 01.カテゴリA 切替

ソート順 1 ※カテゴリが異なれば、同じソート番号を使用しても動作します

メモ

- ・サブカテゴリセット ID

サブカテゴリごとに割り振られるユニークな数字です。内部処理で使用するため、ユーザーが通常意識する必要はありません。

- ・サブカテゴリ名<入力必須>

エントリの小分類として使用する名称を入力します。

- ・カテゴリ<入力必須>

サブカテゴリが属するカテゴリを指定します。ナレッジクリップでは、カテゴリの選択内容によってサブカテゴリの値一覧が変化するため、たとえ同じ選択肢であってもカテゴリごとに作成する必要があります。また、『切替』ボタンをクリックすると、カテゴリセットに切り替わります。なお、サブカテゴリをカテゴリに依存しない値一覧として取り扱う方法については、“6 備考”をご覧ください。

- ・ソート順<入力必須>

値一覧に表示する順番を指定します。“カテゴリ”ごとに 0～99 の最大 100 件指定できます（※ 従って、属するカテゴリが異なれば、同じソート番号を使用可能です）。またソート順が一桁の場合、十の桁に 0 が自動的に付加されます。

- ・メモ

フリーフォームです。入力内容は、【サブカテゴリセット】以外では表示されません。備考等を適宜入力してください。

注意 仕様上、サブカテゴリには“無効フラグ”がありません（“6 備考”にある、サブカテゴリのカテゴリ名非依存化を行った場合は除く）。

④属性セット

エントリに割り振る属性名を設定します。

初期値として3レコードが登録されています。適切な名前に変更の上、使用してください。また、属性名が不足していたり多すぎる場合は、レコード(=値一覧)を追加・削除することもできます。

ソート解除	属性名 [▼]	無効	メモ [▼]	ソート順 [▼]
	1 属性A	<input type="checkbox"/>		1
	2 属性B	<input type="checkbox"/>		2
	3 属性C	<input type="checkbox"/>		3

任意の行をクリックすると、詳細表示に切り替わります。

属性セットID 1.....

属性名 属性A

ソート順 1

メモ

無効フラグ ☐ ※チェックすると、値一覧に表示されなくなります

- ・ **属性セット ID**

属性ごとに割り振られるユニークな数字です。内部処理で使用するため、ユーザが通常意識する必要はありません。

- ・ **属性名<入力必須>**

エントリに割り当てる属性の名称を入力します。

- ・ **ソート順<入力必須>**

値一覧に表示する順番を指定します。0～99 の最大 100 件指定できます (※ 従って、有効なカテゴリ名の上限は 100 件になります)。またソート順が一桁の場合、十の桁に 0 が自動的に付加されます。

- ・ **メモ**

フリーフォームです。入力内容は、【属性セット】以外では表示されません。備考等を適宜入力してください。

- ・ **無効フラグ**

マークすると、属性の値一覧に表示されなくなります。一時的に使用しない属性がある場合に使用します。ただし、すでにエントリで使用されている属性を“無効”にすると、画面表示がおかしくなりますのでご注意ください。

⑤アカウント管理

ナレッジクリップを使用するユーザのアカウント情報を管理します。

初期値として4レコード(=アカウント)が登録されています。必要に応じてレコードを追加・削除してください。

重要 FileMaker の仕様上, [完全アクセス]のアカウントを追加・変更・削除する場合は, ファイル >> 定義 >> アカウントとアクセス権... の『アカウント』タブ上で設定する必要があります。

ナレッジクリップ (DEMO)

ナレッジクリップ

詳細表示 一覧表示

レコード作成 | レコード削除 | アカウント追加 | パスワード変更 | アカウント有効化 | アカウント無効化 | アカウント削除 【アカウント管理】

ソート解除 アカウント名 [▼] パスワード [▼] ユーザ名 [▼] 状況 [▼] アクセス権セット [▼] メモ [▼]

	アカウント名	パスワード	ユーザ名	状況	アクセス権セット	メモ
1	admin	admin	管理者	-	[Full Access]	※このアカウントのパスワードは,
2	config	config	データベース設定	有効	Config	
3	staff	staff	スタッフ	有効	Staff	
4	readonly	readonly	閲覧のみ	有効	Readonly	

戻る RECORD : 1 / 4 [4]

任意の行をクリックすると、詳細表示に切り替わります。

ナレッジクリップ (DEMO)

ナレッジクリップ

詳細表示 一覧表示

レコード作成 | レコード削除 | アカウント追加 | パスワード変更 | アカウント有効化 | アカウント無効化 | アカウント削除 【アカウント管理】

アカウントID 1.....

アカウント名 admin

パスワード admin

ユーザ名 管理者

アカウントの状況 -

アクセス権セット名 [Full Access] 反映

メモ ※このアカウントのパスワードは, ファイル>>定義>>アカウントとアクセス権... の“アカウント”タブ上で変更してください。

RECORD : 1 / 4 [4]

・アカウント ID

アカウントごとに割り振られるユニークな数字です。内部処理で使用するため、ユーザが通常意識する必要はありません。

・アカウント名<入力必須>

ユーザのログイン名を入力します。半角英数字しか使用できません。また、ログイン中のアカウント名やデータベースアクセスアカウントに登録したアカウント名は変更できません。データベースアクセスアカウントで使用中のアカウント名を変更する場合は、先に『アカウント削除』を実行してください。

・パスワード<入力必須>

ユーザのパスワードを入力します。半角英数字しか使用できません。

・ユーザ名

ユーザの名前を入力します。入力内容は、【アカウント管理】以外では表示されません。

・アカウントの状況

現在のアカウントの状態を表示します。

有効	ログインが許可されているアカウント
無効	ログインが許可されていないアカウント
未登録	データベースアクセスアカウントとして登録されていないアカウント
－	“[Full Access]”(完全アクセス) が設定されているアカウント
？	データベースアクセスアカウントへ登録後にアクセス権を“[Full Access]”(完全アクセス) に変更した可能性のあるアカウント

・アクセス権セット<入力必須>

ユーザのアクセス権を指定します。選択可能なアクセス権セットは、“[Full Access]”(管理者) / “Config”(データベース設定) / “Staff”(スタッフ) / “Readonly”(閲覧のみ) です。なお、アクセス権セットを変更した場合は、『反映』 ボタンをクリックしてください。

・メモ

フリーフォームです。入力内容は、【アカウント管理】以外では表示されません。備考等を適宜入力してください。

【メニュー】

レコード作成 | レコード削除 | アカウント追加 | パスワード変更 | アカウント有効化 | アカウント無効化 | アカウント削除

・レコード作成

レコードを新規作成します。

・レコード削除

レコードを削除します。ただし、ログイン中のアカウント (config) やデータベースアクセスアカウントに登録したアカウントのレコードは削除できません。データベースアクセスアカウントで使用中のレコードを削除する場合は、先に『アカウント削除』を実行してください。

・アカウント追加

ログイン可能なデータベースアクセスアカウントを追加します。ただし、“[Full Access]” ([完全アクセス]) が設定されているアカウントは追加できません。

・パスワード変更

【アカウント管理】上で変更したパスワードをデータベースアクセスアカウントへ反映します。ただし、“[Full Access]” ([完全アクセス]) が設定されているアカウントのパスワードは変更できません。

・アカウント有効化

すでにデータベースアクセスアカウントとして登録されているアカウントでのログインを許可します。ただし、ログイン中のアカウント (config) や“[Full Access]” ([完全アクセス]) が設定されているアカウントの有効化はできません。

・アカウント無効化

すでにデータベースアクセスアカウントとして登録されているアカウントでのログインを不許可にします。ただし、“[Full Access]” ([完全アクセス]) が設定されているアカウントの無効化はできません。

・アカウント削除

データベースアクセスアカウントとして登録されているアカウントを削除します。ただし、ログイン中のアカウント (config) や“[Full Access]” ([完全アクセス]) が設定されているアカウントはデータベースアクセスアカウントから削除できません。また、アカウントの削除後も 【アカウント管理】 にはレコードが残ります。

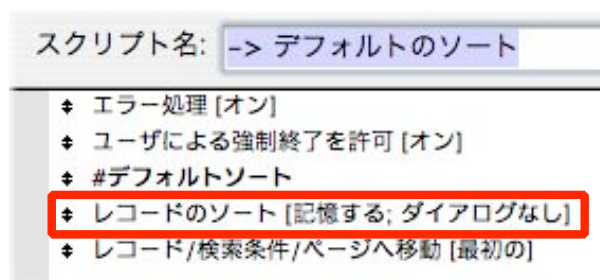
6 備考

この章では、ナレッジクリップのその他の情報について説明します。

・デフォルトのソート順の変更方法

フィルタやエントリの抽出解除後に実行されるソートの順番を変更したい場合は、以下の手順を参考に設定を変更してしてください。

- ①[完全アクセス]のアカウントでログイン後に、スクリプト >>ScriptMaker... から“-> デフォルトのソート”を選択し、『編集...』ボタンをクリックします。
- ②スクリプトの編集画面に切り替わるので、「レコードのソート」スクリプトステップを選び、『指定...』ボタンをクリックして、任意のソート順を設定してください。



- ③ ScriptMaker ウィンドウを閉じると、フィルタの実行後に新しいソート順が反映されます。

・サブカテゴリをカテゴリに依存しない値一覧として扱う方法

カテゴリの選択内容によってサブカテゴリの値一覧（選択肢）を絞り込まないようにしたい場合は、以下の手順を参考に設定を変更してしてください。

- ①[完全アクセス]のアカウントでログインし、ファイル >> 定義 >> 値一覧... を開きます。
- ②“subcategory”を選択し、『編集...』ボタンをクリック後、さらに『フィールド指定...』ボタンをクリックします。
- ③「最初のフィールドの値を使用」「2 番目のフィールドの値も表示」のポップアップメニューはともに“VL__Subcategory”を選び、subcategoryId / subcategoryLabel の順にフィールドを選択します。

値一覧「subcategory」に使用するフィールドの指定

使用する値が保管されているファイルを開きます。最初のフィールド、2番目のフィールド、またはその両方からの値を表示できます（品目番号や品目の説明など）。最初のフィールドからの値のみが保存または適用されます。

最初のフィールドの値を使用

VL__Subcategory

- subcategoryId
- reclId
- categoryId
- categoryName
- categoryLabel
- subcategoryName
- subcategoryLabel
- sortOrder
- invalidFlag
- static0
- memo

☒ 2番目のフィールドの値も表示

VL__Subcategory

- subcategoryId
- reclId
- categoryId
- categoryName
- categoryLabel
- subcategoryName
- subcategoryLabel
- sortOrder
- invalidFlag
- static0
- memo

☐ すべての値を含める

☒ 次のテーブルから関連レコードの値のみ含める: SR__Subcategory_for_VL_subca...

☒ 2番目のフィールドの値のみを表示

次を使って値をソートする: ☐ 最初のフィールド ☒ 2番目のフィールド

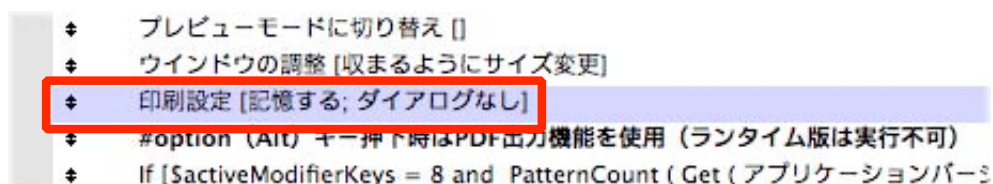
☐ 次の条件で値をソートしなおす: 日本語

- ④ 「次のテーブルから関連レコードの値のみ含める:」の右側のポップアップメニューをクリックし、「RL_Category_Entry」から「SR_Subcategory_for_VL_subcategory」へ変更します。変更後は、値一覧を閉じてください。
- ⑤ スクリプト >>>ScriptMaker... から「管理機能：個別の設定レイアウトに切り替え」を選択し、『編集...』ボタンをクリックします。
- ⑥ 「Else If [Get(スクリプト引数) = 3]」のひとつ下の「レイアウト切り替え [「サブカテゴリセット一覧」 (VL__Subcategory)]」スクリプトステップを選び、「指定:」のレイアウトを「サブカテゴリセット一覧」から「__ サブカテゴリセット一覧」へ変更します。
- ⑦ “config”アカウントで再ログインします（※“admin”アカウントでログインしたまま、レイアウトモードから“データベース設定”レイアウトへ移動しても構いません）。
- ⑧ カテゴリセットの『編集』ボタンをクリックし、カテゴリセット一覧 → カテゴリセット詳細 へ移動します。
- ⑨ レイアウトモードに切り替え、「サブカテゴリ数」右側の『切替』ボタンを削除します。
- ⑩ カテゴリセット一覧 → 『戻る』ボタン → データベース設定 → サブカテゴリセットの『編集』ボタン → サブカテゴリセット一覧 → サブカテゴリセット詳細 へ移動し、任意のサブカテゴリを登録します。
- ⑪ “config”アカウント以外で再ログインし、カテゴリとサブカテゴリが独立して選択できることを確認してください。

特定のプリンタの用紙設定を有効にする方法

ナレッジクリップでは、印刷の際に用紙設定を行うことができません。これは、エントリ本文の印刷時は A4 縦方向で出力し、画像ファイルを印刷する際は A4 横方向で出力するため、特定の用紙方向を“決め打ち”できないからです（※ ファイル >> 用紙設定... からプリンタを指定しても、メニューから『エントリ印刷』するたびに解除されます）。しかし、用紙設定で出力に使用するプリンタをあらかじめ選択しておかないと両面印刷機能等のプリンタ固有機能を使用できないケースもあるため、任意のプリンタを指定する方法について説明します。

- ①[完全アクセス]のアカウントでログイン後に、スクリプト >> ScriptMaker... から“表示中のエントリを印刷”を選択し、『編集...』ボタンをクリックします。
- ②スクリプトの編集画面に切り替わるので、「印刷設定」スクリプトステップを選び、『指定...』ボタンをクリックして、任意の対象プリンタを設定してください。



注意 用紙サイズ・方向は変えないでください。

- ③『OK』ボタンをクリックし、“表示中のエントリを印刷”を閉じます。続いて、“表示中のエントリに関係する画像を印刷”を選択し、『編集...』ボタンをクリックします。
- ④スクリプトの編集画面に切り替わるので、「印刷設定」スクリプトステップ（二箇所）を選び、『指定...』ボタンをクリックして、任意の対象プリンタを設定してください。



- ③ ScriptMaker ウィンドウを閉じると、特定のプリンタの用紙設定が常に有効になります。

注意 この方法で用紙設定を行った場合、特定のプリンタの設定が常に有効になるため、複数のプリンタを使い分ける環境下ではお勧めできません。そのような場合は、いったん PDF 形式で出力し、PDF 閲覧ソフト上で個別に印刷してください。

音声を記録する方法

FileMaker 標準の録音機能を使って、音声を記録することができます（※ 要マイク）。

まず対象となるエントリを表示し、“添付資料数”右横の『表示』ボタンをクリックします。すると、添付資料リストのウインドウが表示されるので、option (Alt) キーを押しながら空白の“添付資料”欄をクリックしてください。



録音終了後に『保存』すると、“添付資料”欄にスピーカーのアイコンが表示されます。当該アイコンをクリックすることが、録音内容を再生できます。

注意 ボリュームの調整や頭出しはできないため、補助的な機能として使用されることをお勧めします。



クリップボードの内容を“添付画像”として保存する方法

クリップボードの内容（イメージ／テキスト）をそのまま“添付画像”として貼り付けることができます。

まず対象となるエントリを表示し、“添付画像数”右横の『表示』ボタンをクリックします。すると、添付画像リストのウインドウが表示されるので、option (Alt) キーを押しながら空白の“添付画像”欄をクリックしてください。すると、クリップボードの内容がそのまま“添付画像”欄にペーストされます。



テキストデータの場合はテキストファイルとして、画像データの場合は PICT 形式で保存されるようです。『書き出し』ボタンを押すと、ペーストされたファイルフォーマットに基づいた形式で出力可能です。

注意 画像ファイルが PICT 形式で保存されると、ファイルサイズが大きくなる場合があります。そのため、画像編集ソフト上でいったん任意の形式で書き出し、ナレッジクリップ側に取り込むことをお勧めします。

“作成者”欄に任意の名前を自動入力する方法

エントリを作成すると、“作成者”欄は通常システムのユーザ名になりますが、任意の名前を既定値として自動入力したい場合は、以下の手順を参考に設定を変更してしてください。

- ①メニューバーから FileMaker の環境設定を選択し、『一般』タブをクリックします。
- ②ユーザ名に「その他」を選び、任意の名前を入力してください。



- ③『OK』ボタンをクリックし環境設定ウインドウを閉じると、次のエントリ作成時から新しい名前が自動入力されます。

注意 ユーザ名を変更する場合は、同一 FileMaker Pro/Advanced 上で使用する他のデータベースの動作に影響がないかを調べてから行ってください。

“最終更新日時”の計算方法

ナレッジクリップでは、関連するポータルレコードを含めた修正日時のうち、一番最新のものを“最終更新日時”として表示しています。しかし、すべてのテーブルの更新日時を取得していると画面表示に時間がかかるため、実際にはエントリの本文及びキーワードのテーブルのみを比較対象にしています。関連エントリ／関連リンク／添付画像／添付資料の各テーブルの修正日時もチェックし、厳密な“最終更新日時”を取得したい場合は、以下の手順を参考に設定を変更してしてください。

- ①ファイル >> 定義 >> データベース... を選び、『フィールド』タブをクリック後。Entry::datetimeUpdated フィールドの『オプション...』ボタンをクリックします。
- ②/* */ のコメントアウトを消します。その際、“Commnet テーブルの修正日時”といった注釈も合わせて消すか、注釈部分のみをコメントアウトしてください。

ナレッジクリップの名称の変更方法

データベースファイルをランタイム化して配布する場合やイントラネット内で使用する際に“ナレッジクリップ”という名前が表示されると都合が悪い場合は、以下の手順で名称を変えることができます。

- ①[完全アクセス]のアカウントでログイン後に、スクリプト >> ScriptMaker... から“起動時に実行”を選択し、『編集...』ボタンをクリックします。
- ②“# データベース名を設定”コメントステップの下にある「フィールド設定 [GL_GlobalValue::currentDBNameGlobal; "ナレッジクリップ"]」を選び、「計算結果:」右側の『指定...』ボタンをクリック後、任意の名前を入力してください。

```
#用紙サイズを設定
印刷設定 [記憶する; ダイアログなし]
フィールド設定 [GL_GlobalValue::datetimeLoggedInGlobal; Get ( タイムスタンプ )]
#データベース名を設定
フィールド設定 [GL_GlobalValue::currentDBNameGlobal; "ナレッジクリップ"]
#ファイル名を設定
フィールド設定 [GL_GlobalValue::currentFileNameGlobal; Get ( ファイル名 )]
#現在のバージョンを設定
```

- ③ ScriptMaker ウィンドウを閉じ、再ログインすると変更後の名称が反映されます。

注意 支障がなければ、コピーライト情報はそのまま残してください。

プロジェクトごとに固有の値一覧を設定することはできない

プロジェクトごとに、カテゴリやサブカテゴリ、対象属性等の値を変えることはできません。これは、データベース構造をできる限りシンプルに保つためです。プロジェクトごとに固有の値一覧を使用したい場合は、データベースファイルを複数用意し、個別に運用してください。

書き込み禁止メディア上では使用できない

ナレッジクリップを書き込み禁止のメディア (CD-R 等) 上で開くと、閲覧のみのアカウントも含め正常に動作しません。これは、グローバルフィールドに一時情報を記録するからであり、ナレッジクリップの仕様になります。

新規ウインドウ表示時にウインドウがちらつく理由

『拡大』ボタンや『表示』ボタンクリック時に、開いている複数のウインドウが一時的にちらつくことがあります。これは、新規ウインドウ表示時に、同じ種類のウインドウが複数開かれているかをチェックする処理と、入力途中のフィールド値を強制確定させるための処理を実行するからです。

対象属性がソート順に印刷されない理由

メニューから『エントリ印刷』を実行すると、対象属性の欄はマーク順に印刷され、本来のソート順が反映されません。これは、複数項目の選択が可能なチェックボックスを使用しているため、フィールドにはマークした順に属性 ID が格納されるからです。

FileMaker のカスタムレコードアクセス権の“表示”に制限をかけていない理由

ナレッジクリップは、FileMaker のカスタムレコードアクセス権の“表示”に計算式によるアクセス制限をかけていません。これは、計算式によるアクセス制限をかけることにより、一部の動作が極端に遅くなるからです。ただし、[完全アクセス]ではないユーザでログインすると、フィルタやエントリ検索、抽出解除等の処理時に、非公開エントリを表示しないための検索条件が必ず含まれるため、動作上は特に問題ないと思います。

重要 ただし、他のデータベースファイルからナレッジクリップに対して外部参照された場合は、エントリ単位のアクセス権設定（非公開／閲覧のみ／編集可）は機能しないため、非公開のエントリにアクセスされる可能性もあります。そのため、ルータの外からデータベースに直接アクセスできるような環境下では、ナレッジクリップはネットワーク共有せずに使用することをお勧めします。